

## 二級建築士試験／木造建築士試験 指定科目に該当する開講科目一覧

1/2

学校種別： <b>大学</b> 所在地都道府県： <b>香川県</b> 学校名 課程名： <b>香川大学 工学部 安全システム建設工学科（平成30年03月31日募集停止等）</b>	学校課程コード： <b>3711-011-150</b> 審査受付番号： <b>171162</b>
対象入学年： <b>平成29年度(2017年度)</b> 修業年限： <b>4年</b> 必要な実務経験年数 <b>試験時：最短0年 登録時：最短0年</b>	新規申請の認定通知日： <b>2017/03/31</b> 変更申請の認定通知日：

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
①建築設計製図	建築設計基礎	1年	2
①建築設計製図	建築設計Ⅰ	2年	3
①建築設計製図	建築設計Ⅱ	2年	2
		<b>小計</b>	<b>7</b>
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画学	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	住環境学	1年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	住環境デザイン演習	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	くらしと建設の技術史	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	環境工学	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築設備	3年	2
		<b>小計</b>	<b>12</b>
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造力学Ⅰ	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造力学Ⅱ	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	土質力学Ⅰ	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	土質力学Ⅱ	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	振動学	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造・土質力学演習Ⅰ	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造・土質力学演習Ⅱ	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造設計学	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	鉄筋コンクリート構造	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	地震工学	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建設材料学	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	コンクリート・構造実験	3年	2
		<b>小計</b>	<b>24</b>
⑧建築生産	建設環境マネジメント	3年	2
		<b>小計</b>	<b>2</b>
⑨建築法規	建築法規	3年	2
		<b>小計</b>	<b>2</b>
⑩複合関連科目	地盤工学実験	3年	2
⑩複合関連科目	都市・地域計画学	3年	2
⑩複合関連科目	ランドスケープデザイン	3年	2
⑩複合関連科目	都市防災システム工学	3年	2
⑩複合関連科目	環境政策	3年	2
⑩複合関連科目	測量学	2年	2
⑩複合関連科目	測量実習	2年	2
⑩複合関連科目	工学倫理	3年	2
		<b>小計</b>	<b>16</b>

学校種別: **大学**

学校課程コード: **3711-011-150**

所在地都道府県: **香川県**

審査受付番号: **171162**

学校名 課程名: **香川大学 工学部 安全システム建設工学科 (平成30年03月31日募集停止等)**

対象入学年: **平成29年度(2017年度)** 修業年限: **4年**

新規申請の認定通知日: **2017/03/31**

必要な実務経験年数 **試験時:最短0年 登録時:最短0年**

変更申請の認定通知日:

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
		①～⑨計	47
		①～⑩計	63

指定科目の分類別必要単位数(試験時・登録時)

① 3単位以上    ②③④ 2単位以上    ⑤⑥⑦ 3単位以上    ⑧ 1単位以上    ⑨ 1単位以上

修得単位数に応じた必要実務経験年数(試験時・登録時)の詳細は「二級建築士・木造建築士の受験・免許登録時の必要単位数(学校種類別)」を参照ください(例:上記、分類別必要単位数を満たし、かつ、①～⑩計40単位以上修得の場合、試験時:0年 登録時:0年となる)。